

# 災害から身を守る

保存版

～日ごろの備えと落ち着いた行動が生死を分ける～

新潟県中越地震、能登半島地震、岩手・宮城内陸地震・・・。  
国内では、この10年間に人的被害を伴う震度6弱以上の地震が16回発生しています。また、近年、局地的な豪雨が増加の傾向にあり、全国各地で急な増水や土砂災害により、尊い命が奪われています。

地震災害や風水害から身を守るには、日ごろから災害への備えを万全にしておくとともに、災害発生時には落ち着いて行動することが大切です。9月1日は「防災の日」です。これを機会に防災対策について考えてみましょう。

☎企画調整課 94-4711 (代)



新潟県中越地震で崩壊した家屋(平成16年10月)

## 地震に備える

### 県内で危惧される地震は

地球の表面は、十数枚のプレートで覆われ、それぞれ違う方向に、年数センチの速度で移動しています。地震は主にこのプレートの運動によって発生します。

神奈川県周辺には、フィリピン海プレート、太平洋プレート、北米プレートが集中しており、東海地震、南関東地域直下の地震、神奈川県西部地震などの切迫性が指摘されています。伊勢原市ではこれらの地震により、震度6弱以上の揺れがあると想定されています。また、市内を南北に縦断する伊勢原断層については、次の活動までに千数百年以上の時間があると推定されています。

#### 県内で想定される主な地震

地震名または断層帯名	マグニチュード	切迫性	30年以内の地震発生確率(注1)
東海地震	8.0程度	ある	87% (注2)
南関東地域直下の地震	6.7～7.2程度	ある	70%程度
神奈川県西部地震	7.0程度	ある	— (注3)
神縄・国府津-松田断層帯	7.5程度	今後数百年以内	0.2～16%
南関東地震(大正型関東地震)	7.9程度	100～200年先	ほぼ0～1%
伊勢原断層	7.0程度	千数百年以上先	ほぼ0～0.003%

注1)地震発生確率は、「全国を概観した地震動予測地図2008年版(地震調査研究推進本部 地震調査委員会)」から記載

注2)東海地震の地震発生確率は参考数値

注3)神奈川県西部地震の地震発生確率は明示されていない。

### 日ごろの備えは

#### 住宅の耐震化と家具類の固定を

阪神・淡路大震災では、亡くなった人の8割以上が家屋の倒壊や家具類の転倒による圧死や窒息死といわれています。



地震への備えとして、もっとも大切なことは、住宅の耐震化と家具類の固定です。

寝ているときがもっとも無防備になるので、寝室での家具類の転倒防止対策や配置の工夫などを優先的に行いましょう。

#### 木造住宅耐震補強補助制度

昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅の耐震診断や耐震改修工事費用の一部を助成しています。詳しくは担当にお問い合わせください。

☎建築指導課

#### 「家族防災会議」で話し合いを

災害時には、家族全員の協力が必要です。いざというときに備え、定期的に家族防災会議を開き、身を守る方法などを確認しましょう。

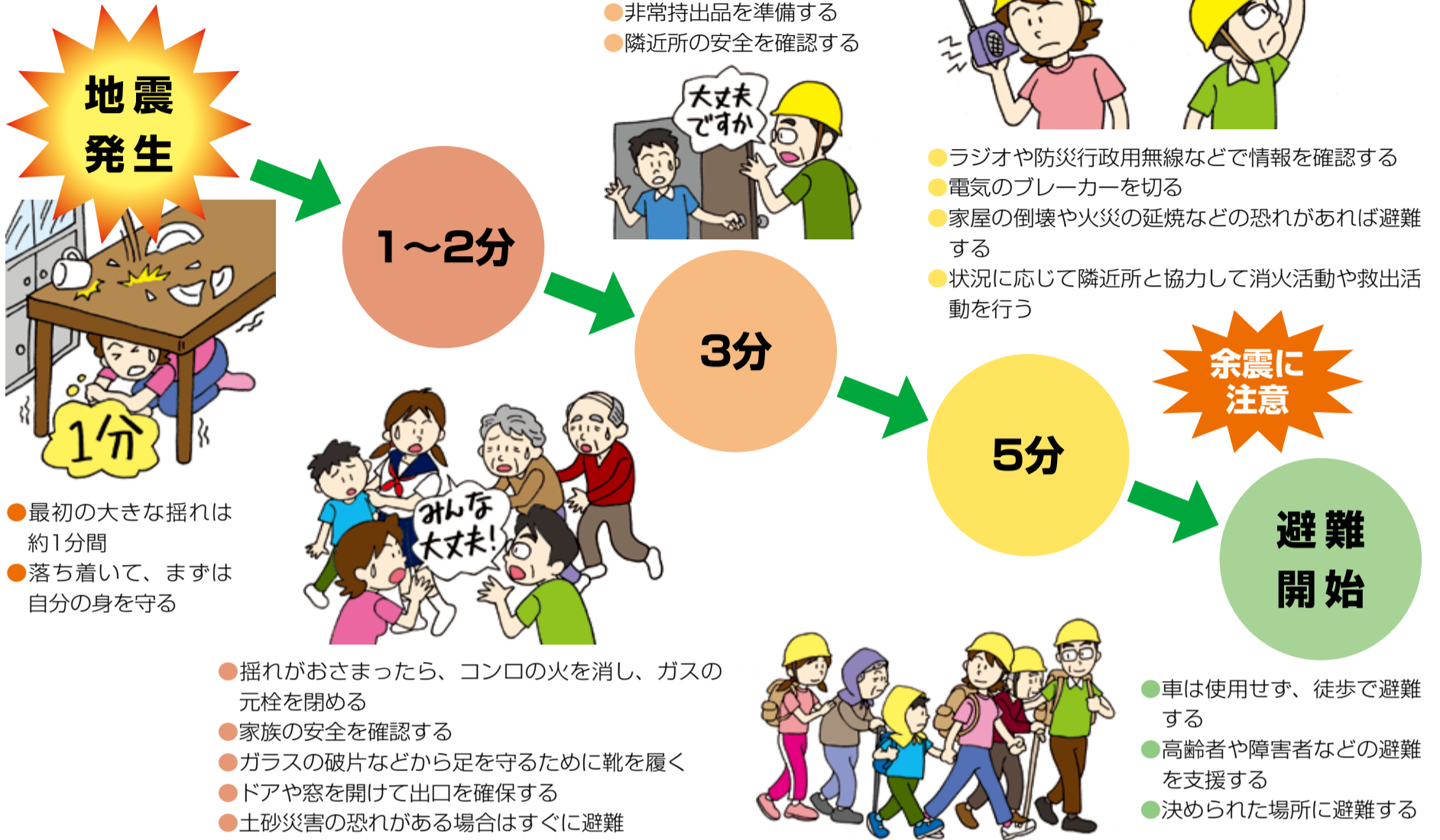


#### 【家族防災会議のテーマ】

- 一人ひとりの役割分担
  - ・誰が何をするのかを決めておく
  - ・高齢者や乳幼児がいるときは、誰が助けるかも決めておく
- 危険個所の確認
  - ・ブロック塀や門柱、石灯ろうを確認し、老朽化したものや鉄筋の入っていないものは補強
  - ・屋根瓦やアンテナを確認し、危険なものは修理や交換
  - ・プロパンガスのボンベは、鎖でしっかり固定
- 安全な空間の確保
  - ・出入り口や通路には物を置かない
- 非常持出品・非常備蓄品の確認 (4ページ参照)
  - ・必要なものがそろっているか確認
  - ・定期的に保存状態や使用期限を点検し、必要に応じて交換
- 防災用具などの確認
  - ・消火器や救急箱の置き場所を確認
  - ・消火器の使い方、応急手当の方法を覚えておく
- 連絡方法や避難場所の確認 (4ページ参照)
  - ・家族が離ればなれになったときの連絡方法や避難場所を確認

# 地震発生！ そのときあなたは

大地震が発生したときは、冷静になることが大切です。あわてず、落ち着いて行動するためのパターンを事前に考えておきましょう。



# 東海地震への備えは

## 東海地震とは

東海地震は、予知が可能といわれている地震です。東海地域の観測データに明らかな変化が現れた場合には、国から東海地震注意情報や東海地震予知情報などの「東海地震に関連する情報」が発表されます。予知情報が発表された場合は、内閣総理大臣から「警戒宣言」が発令されます。

また、伊勢原市は、東海地震が発生した場合に震度6弱以上になると想定される「地震防災対策強化地域」に指定されています。

## 警戒宣言が発令されたら

警戒宣言が発令された場合、地震防災対策強化地域内では、交通規制の実施や鉄道・バスの運行停止などの措置が行われ、各地で混乱が生じることが予想されます。テレビや防災行政用無線などから正確な情報入手し、落ち着いて行動することが大切です。

なお、警戒宣言が発令されたときは、防災行政用無線でサイレンを鳴らしてお知らせします。サイレンは、「45秒吹鳴→15秒休み」を3回繰り返します。

## 東海地震に関連する情報

危険度	情報名	主な対応
低 ↓ 高	<b>東海地震観測情報</b> 観測された現象が東海地震の前兆現象であると直ちに判断できない場合に発表	○テレビ・ラジオなどの情報に注意し、普段どおりの生活を維持
	<b>東海地震注意情報</b> 観測された現象が前兆現象である可能性が高まった場合に発表	○必要に応じて、児童・生徒の帰宅などの安全確保対策を開始 ○がけ崩れなどの危険のある区域の高齢者や障害者などは避難を開始 ○防災行政用無線などの情報に注意し、市の指示に従って行動
	<b>東海地震予知情報</b> 東海地震の発生の恐れがあると判断した場合に発表	○内閣総理大臣が「警戒宣言」を発令 ○がけ崩れなどの危険のある区域の住民は避難を開始 ○交通規制の実施 ○鉄道・バスの運行停止

## 警戒宣言が発令された場合の行動

- 冷静な行動をとる
- テレビ、ラジオ、防災行政用無線の情報に注意し、市の指示に従って行動する
- 身軽な服装に着替える
- 火を出さない対策をとる
- 飲料水、食料品などの持ち出しの準備をする
- 自動車による移動や電話の使用を自粛する
- がけ崩れや土石流などの危険のある区域の住民は避難を開始する
- 「緊急地震速報」の発表に留意する



# 風水害に備える

## 日ごろの備えは

### 気象情報を確認する習慣を

風水害対策の基本は情報収集です。日ごろからテレビやラジオ、インターネットなどで気象情報を確認する習慣をつけましょう。

気象庁ホームページでは、気象警報、注意報、土砂災害警戒情報のほか、降水量分布や1時間ごとの降水量分布予測を確認できます。神奈川県ホームページでは、大山、日向、下糟屋、小稲葉での雨量や渋田川(若宮橋)、歌川(源氏橋)の水位を確認できます。

#### <気象庁>

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

#### <神奈川県砂防・水防情報>

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/sabo/bousai/index.html>

### 土砂災害警戒情報とは

横浜气象台と神奈川県が、共同で発表する土砂災害に関する警戒情報です。2時間先までの雨量や土壌雨量を予測して、土砂災害の危険性が高まった区域を市町村単位で発表します。

### 日常的に家屋の点検を

家屋にも台風などへの備えが必要です。風や雨が強くなってきてから屋外の点検を行うのは大変危険です。日常的に点検し、必要があれば修理や補強をしておきましょう。

#### 屋根

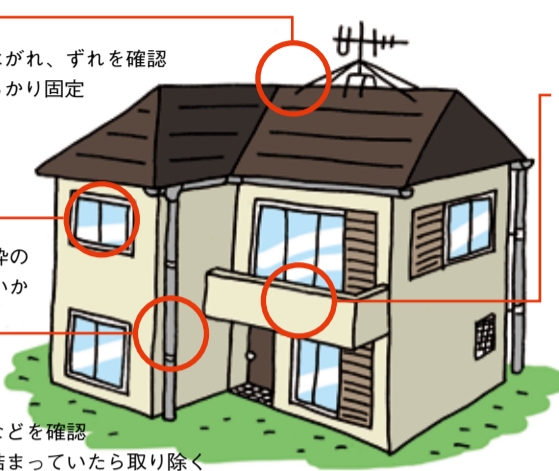
- ・瓦やトタンのはがれ、ずれを確認
- ・アンテナをしっかりと固定

#### 窓ガラス

- ・ひび割れや窓枠のたつきがないか

#### 雨どい

- ・継ぎ目の外れなどを確認
- ・落ち葉などが詰まっていたら取り除く



#### ベランダや屋外の設置物

- ・強風で飛ばされる恐れがあるものは置かない

### 浸水想定区域と土砂災害(特別)警戒区域の確認を

金目川水系では浸水想定区域が、日向川流域の31溪流では土砂災害(特別)警戒区域が、神奈川県から指定されました。

浸水想定区域とは、大雨によって河川がはん濫した場合に、浸水が想定される区域です。

土砂災害(特別)警戒区域とは、土砂災害が発生した場合に住民などに危害が生ずる恐れがある区域です。今後、他の地域でも土砂災害の危険性のある区域について基礎

調査が順次実施される予定です。

浸水想定区域や土砂災害(特別)警戒区域は、市役所4階企画調整課や神奈川県ホームページで確認できます。

#### <神奈川県の浸水想定区域>

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kasen/suibo/shinsui.htm>

#### <神奈川県土砂災害警戒区域等区域マップ>

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/sabo/bousai/keikai/keikai.html>

## 浸水や土砂災害の恐れが生じたら

### 避難のタイミングは

大雨の際には、テレビやラジオ、気象庁ホームページなどで気象情報を確認し、危険と判断したら自主的に避難することが重要です。

特に土砂災害は、発生場所や発生時刻を事前に予測することは非常に困難であり、発生すると非常に大きな被害を引き起こします。土砂災害警戒情報が発表されたら十分警戒するとともに、土砂災害の前兆現象を確認したら直ちに避難しましょう。

また、市では、避難が必要と判断した場合、避難準備情報や避難勧告などの「避難に関する情報」を防災行政用無線や広報車両などでお知らせします。

### 避難に関する情報

緊急性	種別	とるべき行動
低 ↓ 高	避難準備情報	○避難に時間のかかる高齢者や障害者などは避難を開始 ○家族などは高齢者などの避難を支援 ○通常の避難行動ができる人は避難の準備を開始
	避難勧告	○避難対象地区内の人は避難を開始
	避難指示	○避難中の人は直ちに避難を完了 ○避難していない人は直ちに避難 ○避難する余裕がなければ建物の高所やがけの斜面などから遠い部屋に移動

### 土砂災害の前兆現象は

#### がけ崩れ

- 小石がパラパラと落ちてきた
- がけに亀裂が生じた
- がけからの水が濁ってきた
- 擁壁が膨らんだり、ひび割れしてきた

#### 土石流

- 山鳴りがする
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がってきた
- 川が濁ったり流木が混ざってきた

#### 地すべり

- 地面がひび割れしてきた
- 沢や井戸の水が濁ってきた
- 斜面から水が噴き出してきた

### 避難するときの留意事項は

- 動きやすく安全な服装を心掛ける。靴はひもでしめられる運動靴に
- 足元に十分注意する。長い棒を杖がわりにして安全を確認する
- 歩行可能な水深は、一般的に男性で70センチ、女性で50センチ。水の流れが早い場合は、水深が浅くても要注意
- 高齢者は背負ったり、子どもには浮袋をつけたりして安全を確保する



- 隣近所で声を掛け合い、2人以上で避難する。はぐれないようにロープでお互いを結んで避難する

# いざというときのために 事前チェック

## 避難場所

避難は、家屋の倒壊や火災の延焼などにより、家にいることができなくなった場合や危険な状態になった場合に行うものです。緊急(一時)避難場所、広域避難場所、避難所の順に避難することとしています。

### 緊急(一時)避難場所

近くの公園や広場など、各自主防災会が選定

### 広域避難場所

小中学校のグラウンドなど、市が19カ所を指定

### 避難所(第一次・第二次・第三次)

小中学校(体育館・校舎)、公民館など、市が32カ所を指定。災害の状況によって順次開設。第三次避難所は、障害者とその家族のための施設

### 広域避難場所・避難所リスト

地区	対象自治会の目安	広域避難場所	第一次避難所	第二次避難所
伊勢原北	伊勢原第三、駅前第一	伊勢原小学校	伊勢原小学校	中央公民館 伊勢原北コミュニティセンター 武道館 板戸児童館 池端福祉館
	伊勢原第四、七区第二、千津北	千津ふれあい公園		
	伊勢原上、片町第一、片町第二、田中(国道246号北側)、板戸第一、板戸第二、板戸第三(小田急線北側)	伊勢原高校	伊勢原高校	
	金山、池端坂戸、田中(国道246号南側)、池端、下糟屋(渋田川南側)	中沢中学校	中沢中学校	
伊勢原南	下大竹、原之宿、天王原、上平間台、沼目団地、星和マンション、平間台	桜台小学校	桜台小学校	伊勢原南公民館 伊勢原南コミュニティセンター
	大原町、千津南、中尾、ネオハイツ	伊勢原中学校	伊勢原中学校	
	板戸第三(小田急線南側)、谷戸大竹、大匂、馬渡、木津根橋、八幡台一区、八幡台二区、八幡台三区	竹園小学校	竹園小学校	
大山	大山上、大山中、大山下、子易上、子易下	大山小学校	大山小学校	大山公民館
高部屋	辻尾崎秋山、一之郷中丸、宝地九沢長竹、坊中高橋、藤野、洗水	高部屋小学校	高部屋小学校	高部屋公民館 石倉福祉館
	川上、宮下、原、新田	総合運動公園	総合運動公園	
	穴引、峰岸上、峰岸下、峰岸団地、台久保、山王原、石倉、子易、三ノ宮	山王中学校	山王中学校	
比々多	神戸、串橋、笠窪、坪ノ内、善波、栗原、もえぎ台、大住台、ベルフラワーズ大住台	比々多小学校	比々多小学校	比々多公民館
	アメニティ板戸、白根	市ノ坪公園		
成瀬西	東富岡、粟窪、前高森、東高森団地、あかね台、すみだ	成瀬中学校	成瀬中学校	成瀬公民館
	下糟屋(渋田川北側)、小金塚、白金山団地、みどり、アイリスの丘	成瀬小学校	成瀬小学校	
	北高森、高森台	緑台小学校	緑台小学校	
成瀬東	石田(小田原厚木道路南側)、下落合、見附島(小田原厚木道路南側)、南落合	石田小学校	石田小学校	成瀬コミュニティセンター
	石田(小田原厚木道路北側)、見附島(小田原厚木道路北側)、東成瀬、リバティータウン伊勢原、リバティータウン伊勢原第二、リバティータウン伊勢原第三	伊志田高校	伊志田高校	
大田	上谷、下谷、沖小稲葉、西屋、新屋、下小稲葉、上平間、下平間、東沼目、西沼目、つきみ野	大田小学校	大田小学校	大田ふれあいセンター

\*第三次避難所：伊勢原養護学校

## 非常持出品

避難するときに最初に持ち出すもので、男性15kg、女性10kgが目安です。必要最低限にまとめ、すぐに取り出せる場所に保管しておきましょう。



### [非常持出品リスト]

●飲料水、非常食 ●ヘルメット・防災ずきん ●携帯ラジオ、懐中電灯(予備の電池・電球) ●救急医薬品・常備薬・お薬手帳 ●貴重品(現金、通帳類、証書類、身分証明書、健康保険証、免許証、印鑑など) ●生活用品など(下着、上着、靴下、タオル、ハンカチ、洗面用具、トイレトーパー、ウエットティッシュ、水のいらないシャンプー、生理用品、紙おむつ、マスク、軍手、ビニールシート、ラップ、メモ帳、筆記用具、携帯電話のバッテリー、使い捨てカイロ、防寒具など)

## 非常備蓄品

災害復旧までの数日間を自足するためのものです。最低でも3日分、できれば5日分を準備しておきましょう。



### [非常備蓄品リスト]

●非常食(缶詰、レトルト食品、チョコレート、あめなど) ●飲料水(一人1日3リットルが目安) ●生活用水(ポリタンクや風呂の残り湯) ●生活用品など(卓上コンロ、予備のガスボンベ、固形燃料、ろうそく、ライター、わりばし、紙皿などの簡易食器、簡易トイレ、予備のメガネなど)

## 災害用伝言ダイヤル 171

被災地への通信がつながりにくい、大規模な災害の発生時に提供されるサービスです。

171に電話すると音声ガイダンスに従ってメッセージの録音や再生ができます。

毎月1日、防災週間(8月30日～9月5日)などに体験利用ができますので、家族との連絡手段として利用方法を確認しておきましょう。

**録音** 171 → 1 → 被災地の人の電話番号 → 伝言を吹き込む(市外局番から) (30秒以内で)

**再生** 171 → 2 → 被災地の人の電話番号 → 伝言を聞く(市外局番から)

\*携帯電話各社でも、災害用伝言板サービスが提供されますので、利用方法を確認しておきましょう。